

J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取いなば） 10月号

1. 岩美南小学校梨収穫体験

J A 鳥取いなば岩美支店は9月15日、町立岩美南小学校の梨園で梨「二十世紀」の収穫体験を行った。3年生25人が対象で、小学校と高校の連携教育の一環で県立岩美高校の生徒15人も参加した。

J A 職員が収穫する際のポイントや注意点を説明し、児童・生徒らは約500個分の梨「二十世紀」を収穫した。

参加した児童は「みんなで育てた梨がたくさん採れて楽しかった。早く食べたい」と笑顔で話した。



2. 若桜町移動販売車お披露目の会

J A 鳥取いなばグループは10月1日、若桜町のトスク若桜店の店頭で、移動販売車の新車両のお披露目の会を開いた。同グループや同町などの関係者が新車両の完成を祝った。

移動販売車は、生活店舗がない地域で生活用品などを販売するため平成24年12月に同町で導入した。車両の老朽化を受け、J A 共済連所管の「J A 共済地域・農業活性化積立金」を活用して車両をリニューアルした。

新車両には持続可能な開発目標（SDGs）のロゴを描き、J A グループの活動とも連動し、町内の買い物支援を続けていく。



3. 特産柿「西条」初選果 広域果実選果場柿開所式

J A 鳥取いなばは10月3日、特産柿「西条」の選果作業を八頭町の同J A 広域果実選果場でスタートし、7日に初販売した。

選果前に行われた開所式では、J A や県、生産者ら約100人が参加した。同J A では、広島・山口などの中四国の市場を中心に3万2千箱（1箱10^{kg}）を出荷し、約1億1,800万円の販売を目指す。



4. JAグリーン愛菜館農園で青パパイヤ実る

JA鳥取いなばのJAグリーン千代水店内にある「グリーンファーム愛菜館農園」で、栽培した青パパイヤが初めて実りを迎えた。

県内では倉吉農業高校が新たな特産化に向けて栽培研究に取り組んでいる。愛菜館運営協議会の徳永副会長らが同校を視察し、栽培方法などについて研修を重ねてきた。

今後は、隣接するJA直売所の愛菜館での販売を予定している。



以上